



■ 手術件数・入院件数の増加を支える診療体制作り

年間の総手術件数、カテーテル検査・治療件数、内科疾患入院件数、内視鏡検査・治療件数のいずれの指標も2014年に比べ件数増となりました。

24時間の診療体制の下、救急車の受入件数が増加しその受入を行う診療体制作りにも尽力してきた事、地域医療機関とのカンファレンスの開催や渉外活動、自院で運行する救急車の導入などの相互の連携強化が奏功したものと考えております。

増加する医療ニーズに応え続ける為にも適正な医師数と質の確保に尽力して参ります。